

知地第112号
平成24年6月18日

防衛大臣
森本 敏 殿

沖縄県知事 仲井眞 弘多

「在日米軍・海兵隊の意義及び役割」（防衛省）について

平成23年12月19日に回答のありましたみだしのことについて、下記のとおり再度質問をとりまとめましたので、回答頂きますようお願い申し上げます。

なお、去る4月27日の共同発表（以下、共同発表）を踏まえ、パンフレットの内容及び本県の質問に対する回答に関し変更があれば、お示し頂きますよう併せてお願い申し上げます。

記

1. 総括質問

（政府の基本的な考え方について）

- ①平成21年9月の政権交代時において、政府はどのような認識、考え、見込みを持って、県民・国民に「普天間飛行場の県外移設」を訴えていたのか。

（普天間飛行場代替施設について）

- ①問25の回答で「総合的に判断した結果、国外移設及び県外移設は不適切・・・との結論に至った」とのことであるが、その判断の基準及び検討された全候補地の評価結果について、添付の表（例）を参考に具体的に示して頂きたい。

- ②共同発表では辺野古移設案が、「これまでに特定された唯一の有効な解決策である」とし、「運用上有効であり、政治的に実現可能であり、財政的に負担可能であって、戦略的に妥当であるとの基準を満たす方法で、普天間飛行場の移設に向けて引き続き取り組む」としているが、これは今後、新たな移設先を検討する可能性が示されたと解してよいか。

(海兵隊の国外移転について)

- ①共同発表では、約9000人が国外に移転されるとしているが、我が国における抑止力維持との関係をご説明頂きたい。
- ②再編のロードマップにおける移転部隊の構成と、共同発表の部隊構成が変更されている理由をご説明頂きたい。
- ③沖縄における海兵隊の組織構成は、今後も変更されうると解してよいか。

(在沖米軍に係る基礎資料の提供について)

- ①在沖米軍の各部隊について、その機能と人員数(定数・実数)、訓練先を含めた使用施設について、現状と再編後に分けて詳細に示して頂きたい。
- ②パンフレット12頁における約6か月ごとの異動と、共同発表で豪州等に構築するとしているローテーションによるプレゼンスについて、対象となる部隊及びその違いをご説明頂きたい。

(在日米軍の配置に係る戦略的な根拠について)

- ①歴史的背景以外に、なぜ沖縄に74%も米軍専用施設が戦略的に集中しなければならないのか。潜在的紛争地域がいずれも日本の西側にあるのに、日本の南西にある沖縄にあえて集中させている必然性を示して頂きたい。

- ②潜在的紛争地域への距離については「近い（近すぎない）」とのことだが、沖縄は台湾海峡と朝鮮半島と等距離に所在していないので、むしろ、台湾海峡との適切な距離、朝鮮半島との適切な距離に位置する地点に、それぞれ在日米軍基地を置くことが妥当と考えられないか。
- ③安全保障環境は歴史的に変化しており、これに対応した適切な配置や距離も変動しうるのに、なぜ沖縄に米軍基地を集中させ続けているのか。

2. 個別の再質問等

問3 関連

- ①近い（近すぎない）という概念について、具体的距離・時間等を示して頂きたい。

問4 関連

- ①どのような緊急事態を想定しているのか、用いられる兵器・機材及び米軍の対処について、具体的にご説明頂きたい。
- ②他の都道府県に駐留した場合に生じる問題について、検討された移転候補地ごとに、具体的に示して頂きたい。
- ③朝鮮半島には、他の都道府県の方が距離的近接性があるのではないか。朝鮮半島への対応を前提としないことで、沖縄への過重な負担を軽減できるのではないか。

問7 関連

- ①共同発表における海兵隊のグアム等への分散移転計画を踏まえ、既に米軍基地が集中している沖縄において、駐留が必要な海兵隊の規模とその根拠についてご説明頂きたい。

問 8 関連

- ① 沖縄における軍事的なプレゼンスの前提となる、具体的な事態を説明頂きたい。

問 9 関連

- ① 在沖海兵隊をグアム等に分散移転する場合に抑止力が維持されるのであれば、他の都道府県に分散移転しても、抑止力が維持されると解してよいか。
- ② 「一定の初動対処能力を有する海兵隊」について、具体的にご説明頂きたい。

問 1 4 関連

- ① 海兵隊の活動エリアが、CH-46の航続距離を半径に示されているが、主力輸送機が変更され航続距離が延長した場合、航空部隊の配置を、より柔軟に検討することが可能となるのか。

問 2 0、3 0 関連

- ① 共同発表では、豪州等への移転計画が示されているが、沖縄の「地理的優位性」に変化があるのか。
- ② 海兵隊が沖縄から撤退した場合に起こりうる問題として、どのような事態を想定しているのか。

問 2 2 関連

- ① 回答では、各構成部隊を切り離せば、「海兵隊の持つ機能を損なうおそれがある」としているが、共同発表における各構成部隊の分散移転との関係を説明して頂きたい。
- ② 「近傍」という概念について、具体的距離・時間等を示して頂きたい。また分散する先が、グアム等国外と他の都道府県とでどう違いがあるのか説明して頂きたい。

問 2 4 関連

- ①回答にある「時間と距離の壁」について、具体的に説明して頂きたい。

問 2 5 関連

- ①普天間飛行場を他の都道府県に移転した場合の「誤ったメッセージ」について、具体的に説明して頂きたい。

問 2 9 関連

- ①周辺事態において日米両政府が「非戦闘員の退避に関して（略）協力する」場合、米側として活動を行うのは海兵隊に限定されないと解してよいか。
- ②米軍の民間人救出の国籍による優先順位については、在日米軍の活動においても適用され、日本人は後回しにされうるのか。

以上

普天間代替施設移設先検討表(例)

個別の候補地の例

共同発表で示された基準があれば、優先順位と併せて示してください。

優先順位		辺野古	大村空港	佐賀空港	徳之島
	運用上有効性							
	...							
	...							
	政治的実現可能性							
	...							
	...							
	財政的負担							
	...							
	...							
	戦略的妥当性							
	...							
	...							
	...							
	...							
	総合評価							

判断の基準の例

検討された評価結果をご記入ください。